# 太平洋側４港湾連携会議 第２回「意見交換会」概要メモ

◎　日　時：平成 23 年６月 15 日（水）14：00～17：30
◎　場　所：函館市役所本庁舎 ８Ｆ大会議室

１．　函館市港湾空港部港湾空港振興課　木村課長挨拶（要旨）

３月の東日本大震災により道内各港湾に影響があった。函館も津波の被害があり、その後風評被害により海外からのクルーズ客船の寄港が軒並みキャンセルとなるなど、残念な結果となっている。

４港湾の連携により「どのようなことができるのか」、本日は忌憚のないご意見をお聞かせいただきたい。

２．　共通テーマツアー　春・夏・冬バージョンの企画について

① 北海道太平洋側４港湾連携企画　秋の湖紅葉と北海道食体験ツアー(お土産付き)を活用した船社等ポートセールスの反応（評価）

・郵船クルーズ(株)→今年は難しいが、今後の参考としていきたい。
・日本クルーズ客船(株)→非常におもしろい企画。春・夏のツアーも紹介して欲しい。
・商船三井客船(株)→非常に参考になる。検討させていただきたい。（苫小牧の浜の母さんのホッキ貝は非常に人気があった。）
・JTB グローバルマーケティング＆トラベル→非常に参考になる。海外の小型クルーズ船には、屋台、鮭の水揚げ、チカ釣りなどおもしろい。

② パシビの動向→今後２年間はロングクルーズをやらない。
※狙い目であり、春・夏バージョンの企画を早急に練って働きかける。
★来年の６月のパシビを想定し、バードウォッチング、花を含めた「癒し」を共通基本

テーマとして、フォトコンテストの開催も検討してはどうか。
★企画（資料の作成）に当たっては、「ガイド付きでこんなものが見られる」「地元の人とこのようにふれあうことができる」「この時間のここが見どころ」など、わかりやすく、具体的にアピールできるものとする必要がある。
→7 月上旬（7/8）を目途に各地区で作成し函館市へメール送信する。情報共有し修正を行った上、幹事港湾の函館市が取り纏め、パシビの春・夏航路が確定する前及び首都圏合同プレゼン時等に活用する。

③ 冬バージョンの企画について
・札幌のイルミネーションやオホーツクのガリンコ号など人気がある。雪だるま・・・など北海道らしさを打ち出し、冬バージョンの企画を出せないか。
→面白いが、少し検討の時間が必要。

３．　首都圏セミナーの実施について
① 実施時期、対象者
→4 港湾の担当者が一同に共通テーマツアー等の企画を持って合同プレゼンをすることを確認。
日本のクルーズ船社を中心にＧＳＡ、旅行業者等に声をかけ、日本海事新聞社の会議室を借用し実施する。明日（6/16）日本海事新聞社のご担当に打診する。
※可能であれば、翌日、来られないところなどに企画を持って挨拶回りする。
② 内容
→共通テーマツアーの説明を行った後、フリートーキング。各港それぞれが歓迎内容や港湾施設の使用料等を説明できるよう準備する。

４．　連携招聘ツアーの実施について
① 海外船社のクルーズキーパーソンの本国からの招聘は、効果的であるがかなりの労力と予算がかかるため、当面見合わせる。
→ジャパンクルーズシンポジウムの開催時などオーダーがあった場合、横持ちの招聘（ファムトリップ等）は積極的に検討する。
② 当面、日本船社のご担当者（クルーズキーパーソンを含む）に対し、現地（4 港湾）に足を運んでもらえるよう働きかける。
→例えば、関係者向けのミニセミナーや市民向けセミナーを開催し、ご講演いただく。このときに可能であれば意見交換会等を行い、併せて地元の人気スポット等を紹介する。連携地域を廻っていただくことも視野に入れるが、日程の確保が難しいのではないか。
※目標は船社や旅行業者とのパイプを太くすること。

以　上